広報 やまと

1月号
2024 No. 291

表紙　第20回まほろば大和ウォーキング大会
02-03　新年の挨拶、ほか
04-05　特集　大和村初！ 中学生を台湾に派遣
06-09　シマの話題
10-13　歯っぴースマイル通信、ほか
14-16　大和村長のフォトダイアリー、ほか

新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

まず初めに、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、令和6年を迎える今年は、辰年（たつ）でございます。辰年生まれの方の特長として、男性は責任感が強く周囲からの信頼も厚い傾向にあり、女性は情熱的という特徴があるようでございます。

また、辰は「振るう」という字に由来しており、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表しており本年が村民皆様のご家族にとって、活力旺盛な一年となります事を心から願うところであります。

さて昨年は新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症へ移行され、コロナ禍以前の生活が戻りつつあり、村内の各種イベントも開催されたほか、昨年12月には奄美群島日本復帰70周年を迎えた年となりました。これは、奄美の歴史や当時の復帰運動を見つめなおす機会となり、先人たちの思いや平和への尊さを後世に語り継ぐ事の大切さを改めて感じたところであります。

さて、今年の村政の基本方針について申し上げたいと思います。

行財政改革の推進

各事業の効果など緊急性や必要性など十分な検討を行うほか、補助率の高い補助事業導入を基本に、最小の経費で最大の効果を目指し、適正な予算執行による健全財政の確立に努めて参ります。

農林水産業の振興による村の活性化の推進

農産物加工施設 大和まほろば館や、水産加工施設 いしょむん館の活用促進に加え、奄美温泉大和ハナハナビーチリゾートと連携した地産地消の推進と実証農園を活かした、体験型観光農園の充実に努めて参ります。

高等教育機関との連携による村の活性化対策と定住促進住宅の整備促進

旧戸円校におけるインフィニティ国際学院の継続活用を図りつつ、他の教育機関との利用推進に努めるほか、定住促進住宅の整備に取り組んで参ります。

民間企業との連携による観光振興の推進

春先にオープン予定の奄美温泉大和ハナハナビーチリゾートや、建設中のアマミノクロウサギ飼育研究施設（仮称）を、観光拠点施設として体験型観光と連携し、観光受け入れ態勢の強化を図って参ります。

福祉の充実した村づくりの推進

福祉事務所の安定的な運営と、集落長屋構想の推進並びに認定こども園整備の検討と、子ども家庭センター設置に向けた構想を計画的に進めて参ります。

その他、道路交通網、生活環境の整備促進では、簡易水道及び集落排水事業の公営企業会計への適宜対応と、災害対策の充実した村づくりの、合計7つの基本方針を推進し、村民と共に明るく心豊かなまほろば大和の創造に取り組むことで、村民が主役・小さくとも光り輝き続ける村づくりの実現に邁進して参りたいと思います。

そして今年は、奄美大島本島内における観光の一大拠点施設と想定される、奄美温泉大和ハナハナビーチリゾートオープンの効果を最大限に生かすべく、関係企業・各種団体と連携を図りながら、自然をいかした体験型観光を推進し、世界自然遺産登録地を有する本村の基本理念である自然と共生し、生き生き、安全・安心な住みよい村づくりの実現に向けて新たな気持ちで努力して参ります。

新春にあたり、村民の皆様方の限りないご多幸と、益々のご健勝をお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。

大和村長　伊集院　幼

二十歳（はたち） おめでとう

令和6年1月4日に大和村防災センターで「二十歳のつどい」が行われました。

今年の対象者は合計23名で、そのうち13名が出席。会場は、華やかな晴れ着で彩られました。

決意表明では、13名がこれまで育ててくれた保護者や地域の方々への感謝を述べ、今後の抱負や、いつか大和村に貢献したいといった希望を述べました。

謝辞では代表として窪山秀雲万（しゅうま）さんが「私たちはコロナ禍の中、大学入試など行ってきて、念ずれば花咲くということを知った。これからも自分自身の可能性に果敢に挑戦し、小さくとも光り輝き続ける大和村の一員になることを誓う」と決意を述べました。

令和4年4月から、成人年齢が18歳に引き下げられています。今回20歳になった皆さんはすでに成人です。これからはさらに責任ある行動に努めるとともに、自身の夢に向かって突き進んでほしいと思います。みなさんの活躍を期待しています。

大和村初！ 中学生を台湾に派遣

令和5年12月25日～29日、大和村初となる国際交流事業を実施しました。本事業は、大和村の子どもたちを海外に派遣することにより、外国の文化、歴史、風土などを学び、現地での交流体験を通して相互理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、国際感覚を育むことを目的としています。今回の研修先については、台湾の総領事にあたる陳銘俊（チンメイジュン）氏にご協力をいただき、名門校である台北市立建成国民中学を推薦いただき、同校に受け入れていただきました。

研修に参加したのは大和中学校の2年生10名、3年生3名。9月から、学校や部活の間を縫って事前研修や発表練習に懸命に取り組みました。建成国民中学で、英語で大和村を紹介し、大和浜の棒踊りを披露しました。また、台湾の生徒たちとの交流では、英語を使ってお菓子作りやゲームをしたり、台湾原住民の伝統舞踊体験を行い、親睦を深めました。

大和村国際交流事業は、継続して大和村の子どもたちの学びと成長の機会を提供できるよう隔年で実施する予定です。

台湾研修スケジュール

12月25日　出発式、移動日
26日　故宮博物院、原住民博物館、十分、九份を見学
27日　建成国民中学にて交流、市内見学（台北101等）
28日　龍山寺を見学、パイナップルケーキ作り体験
29日　移動日、解散式

事前研修&伝統芸能への挑戦

台湾研修に先立ち5回の事前研修を行いました。研修では、主体的に研修に取り組む姿勢を重視しながら、台湾の歴史や中国語に触れたほか、海外での心得などを学びました。また、英語で行った大和村紹介は、台湾の生徒に伝えたいことを生徒が話し合い内容を決定しました。

台湾で披露するため、大和浜の棒踊りにも挑戦。大和浜棒踊り保存会の皆さんに指導いただき、ノー部活デーの放課後に1時間ずつ練習を重ねました。国際理解には、まず自らを知ることが大切です。今回の研修を通じて大和村や郷土の伝統芸能についても学ぶことができたのではないでしょうか。

祝！ 姉妹校誕生

伊集院村長と黄（コウ）校長とが、両校の友好の証として姉妹校提携の署名を交わし、大和村初となる友好姉妹校が誕生しました。両校の発展と、両国の文化と歴史の相互理解を深められるよう、今後も大和村を担う子どもたちへの多様な学びの機会を提供し、建成国民中学との交流促進を図ってまいります。

台湾の先住民族の踊りを一緒に踊る

空港にて

棒踊りを披露

台湾の中学生と交流

十分で願い事を書いたランタンを飛ばす

英語で大和村紹介

本場の小籠包

報告会を開催します

3月16日（土）
13：30～16：00
大和村防災センター２階

研修報告、派遣生による発表を行います。ぜひお越しください。

派遣生の声

- これからはもっと英語をがんばる！
- 台湾の歴史・文化・言葉をもっと知りたい！
- 棒踊りの練習を頑張った甲斐があった！
- 日本のあたりまえは、世界のあたりまえではない！
- 台湾にも豊年祭がある！
- 台湾が好きになった！

様々な気付き、学びがありました

親子で英語に親しもう

11月5日、大和村防災センターで、幼児を対象とした英語絵本よみかたり講座（鹿児島県国際交流協会・大和村共催）が開催されました。講師は、県国際交流員のスノーデン・ジョセフさん。読みかたりのほか、ダンスや工作などを全て英語で行いました。絵本の読み聞かせでは『大きなかぶ』などお馴染みの絵本を英語で聞きながら、講師と一緒に掛け声をかける場面や、英語の指示に合わせてジャンプしたりする場面もあり、親子で体を動かしながら英語に親しみました。

方言継承を考える

11月4日、大和村防災センターで第2回長田須磨シンポジウム（奄美文化継承プロジェクト主催）が開催されました。

方言の継承をテーマに、琉球大学の狩俣繁久名誉教授の講演では、長田須磨氏の著書『奄美方言分類辞典』の現代における意義を解説。また、方言の実践として大棚小学校の児童が「島口教訓カレンダー」から自分の好きな島口の発表、名音小学校の児童による八月唄と踊りの披露がありました。島口は私たちにしか継承できません。島口を日常生活に取り込み使用し続けていきたいですね。

結婚応援助成金

11月28日、大和村初となる結婚応援助成金を交付しました。結婚応援助成金は、新婚夫婦の新生活を応援する目的で令和5年度から始まった助成金で金額は10万円。

第一号となったのは、思勝集落在住で10月に入籍した川口裕也さん、幸恵さん夫婦。「祝い金第一号となりうれしい。明るく元気な家庭を築いていきたい。祝い金はフォトウェディングなどに使用したい」と語りました。末永い健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

「餅もろたー」の声響く

11月28日、湯湾釜集落で伝統のムチモレ踊りが開催されました。ムチモレは、旧暦の10月16日に集落の安全祈願を祈る行事で、コロナ禍では縮小して開催していましたが、今回は従来通りの開催。

19時頃から踊り連一行が道唄（おぼこり）を歌い、集落の全戸をめぐります。三味線と歌に合わせ女装した踊り手が踊り、「餅もろたー」の声に「ヨイヤヨイヤ」と囃す声が夜の集落に響いていました。今年は見学者も多く訪れ、道にあふれるほどにぎわっていました。

4年ぶりの防災訓練　防災関係団体の連携へ向けて

11月12日（日）、村防災避難訓練を実施しました。天候不良やコロナ禍による中止で、開催は4年ぶり。奄美大島近海を震源とするマグニチュード8の地震が発生し、大津波警報が発表され大和村全域に津波襲来があったと想定して訓練を行いました。当日は早朝までの雨も止み、村内全域から448名が参加しました。

また当日は、陸上自衛隊奄美警備隊による炊き出し訓練も行われ、限定100食のカレーが振舞われました。

避難訓練は、各集落の自主防災組織の訓練も兼ね避難誘導や被害情報伝達等も実施。訓練終了後には各自主防災組織で反省点や問題点、村への要望等を話し合い記録していただきました。その内容を抜粋して以下に掲載いたします。

災害はいつ起こってもおかしくありません。ご自身や家族の命を守るため、各家庭で日頃から災害に備え、避難方法を決めておくことや防災グッズの準備をしましょう。

【要配慮者について】
- 子が家にいないと避難できない
- 担当を配置し防災センターへ連れて行ってはどうか
- 要支援者が増え消防団員が不在の場合不安

【避難場所・避難方法について】
- 歩いて避難が望ましいが、車避難が多い
- 車避難が多いので旧県道に避難するのが良いか
- 道が落石等で車両乗り入れが困難
- 車誘導が必要
- 階段や坂が急勾配で高齢者には負担
- 草や木の管理を徹底した方が良い
- 車避難では駐車スペースが足りない
- 津波が来る方向へ一度向かい避難となる
- 中道付近の簡易的な整備が必要
- 集落の出入口に誘導員を配置したらもっと良かった
- 避難場所を追加検討
- 消防団車両は放送しながら集落内を回る必要があった
- 区長放送の指示待ちが多かった

【日頃の対策について】
- 組織図更新時期を決めて更新すべき
- チェック表の作成
- 水や食料を誰が公民館から運び出すか
- 避難者確認が出来るよう日頃から話合いが必要
- 集落名簿一覧を用意していなかった
- 高齢者及び要配慮者の名簿は用意し、スムーズな避難が出来た
- 集落内の建物やブロック塀等の崩壊、避難困難になる恐れ
- 避難者で防災グッズの携帯が少なかった

【村への要望等】
- 放送が聞こえない
- 最初の放送が解りづらかった。次の放送までの間隔が長い
- 要介護者用にタンカを設置できないか
- 訓練時もエリアメールを活用してほしい
- 避難が完了した目印を村で作成できないか
- 炊き出し訓練の持ち回りも検討して欲しい
- 電柱の海抜表示が見えない
- 屋根付き避難所に出来ないか
- 携帯電話の電波が悪い
- 子ども用誘導表示（ひらがな）の設置

7つの子の成長祈る

1月7日、子どもの健やかな成長を祈るナンカンセック（七草の節句）が行われました。大和村では主に国直から大和浜までの集落で行われている習わしで、数え年で七つになる子どもが親類等の家を7軒訪問しナンカンジョセ（七草雑炊）をもらいます。双子の市田翔太朗さん、幸菜さん兄妹は、思勝の親類宅を晴れ姿で訪れると、温かい歓迎を受け雑炊を受けとりました。七つになるお子さんの健やかな成長をお祈りいたします。

意気込み新たに 初泳ぎ

1月2日、新春初泳ぎが国直海岸で行われました。昭和62年から行う大和村水泳連盟（会長 伊集院 幼）の恒例イベント。この日は気温20℃と初泳ぎ日和となりました。村内外から集まった25名のスイマーはランニングで体を温め、一斉に海へと向い沖まで泳ぐと三本締めで1年の無病息災を祈願しました。

参加した大和小5年の吉本凰雅さんと南優聖さんは「海は少し寒かったけど、今年は水泳にも勉強にも一生懸命頑張りたい」と意気込みを語りました。

新春恒例　出初式

1月7日、大和中学校グラウンドで大和村消防出初式が開催されました。観閲式、表彰式などが行われ、一斉放水では5色に染められた水が美しくアーチを描くと観客から大きな拍手があがりました。

安心安全な村は、自助、共助、公助が一体となり築かれます。村内において大規模災害が発生した場合、消防職団員が全力で対応しますが、村民の自助・共助が不可欠です。出初式を機に改めて各自がいざという時に備えていただくことをお願いいたします。

表彰者は下記のとおりです。

【県知事表彰】

功労章　　団長　森田昌敬さん
勤続章　第2分団　三田陽一郎さん
勤続章　第2分団　納孝行さん
功績章　第1分団　森亮さん
精績章　第5分団　森岡豊史さん
精績章　第2分団　吉原修さん
精績章　第1分団　吉本弘典さん

【大島支部長表彰】

15年勤続章　第2分団　吉原修さん
15年勤続章　第1分団　大野英則さん
15年勤続章　第1分団　吉本弘典さん

公民館設備が充実

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されているコミュニティ助成事業の助成金を活用し、湯湾釜と思勝の公民館に空調設備やブラインド、テレビなどが整備されました。

これにより、通常利用する際や避難所として利用する際に、若年層から高齢層までより一層安心して公民館を活用することができるようになりました。また、公民館設備が充実することで地域文化活動の活性化につながることが期待されます。

離島振興に貢献

離島振興法施行および全国離島振興協議会設立70周年を記念した功労者表彰において、離島振興に多大な貢献をしたことで、伊集院村長が会長特別表彰を受賞しました。

12月8日、村長室で賞状が伝達されると、伊集院村長は「これまで役職を経験し、離島の現状を国会議員の方々へお伝えすることで、離島振興に貢献できたと思っております。今後も村の発展を目指してまいります」と述べました。

7名の食改さん誕生

12月15日、食生活改善推進員の養成講座の修了式がありました。同講座は11月から12月にかけて、全5回の日程で行われ、村内の健康上の課題や、食生活、健康づくりなどについて、座学や実習を通して学びました。この養成講座で、新たに7名の「食改さん」が誕生。今後は食を通して村民の健康づくりを推進していきます。修了生からは「7名の会員がいて心強い。介護予防教室などで食改として支援できるように頑張りたい」と意気込みが聞かれました。

夫婦仲良く50年祝う

12月13日、合同金婚式が開催されました。昭和48年にご結婚された5組の夫婦が参加され、結婚50周年の節目を祝いました。

参加された麓さん夫婦にこの50年について尋ねると夫の富吉さんは「一生懸命取り組んだ仕事のことが思い出される」、妻の幸子さんは「お互いに好きなことに取り組んできた」とのことでした。それぞれが一生懸命に自らの道を歩んでこられたことが夫婦円満の秘訣かもしれませんね。金婚の節目を迎えられた皆さん、益々のご多幸をお祈り申し上げます。

どぅくさむんがたり

大和診療所だより
Vol. 45

文／小川　信

DMAT（ディーマット）災害医療チーム）について

能登半島を中心に、またもや大変な災害が起きています。1 月 23 日現在、県立大島 DMAT 病院の DMAT が被災地で活動中です。

DMAT は「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されています。 医師、看護師、業務調整員（医療職または事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね 48 時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

現場の医療だけでなく、災害時に多くの患者さんが運ばれる、被災地の病院機能を維持、拡充するために、病院の指揮下に入り病院の医療行為を支援する病院支援や、首都直下型、東海、東南海・南海地震など想定される大地震で多数の重症患者が発生した際に、平時の救急医療レベルを提供するため、被災地の外に搬送する、広域医療搬送など、機動性、専門性を生かした多岐にわたる医療的支援を行います。

大和村では、2月９日から 13 日まで JMAT 派遣に協力し職員４人を被災地に派遣することとなっています。

※ JMAT（日本医師会災害医療チーム）とは、日本医師会により組織される災害医療チームで、被災者の生命及び健康を守り、被災地の公衆衛生を回復し、地域医療の再生を支援することを目的としています。

参考文献：厚生労働省；http://www.dmat.jp

割引キャンペーンが始まりました

文／事務局　三田もも子

2 月 1 日～ 3 月 24 日の間、「We love やまとそん　泊まって遊ぼうキャンペーン！」を開催しています。

これは、全国的な旅行支援の終了や、LCC の減便にともない観光客の減少が予想されることから村内の観光事業者を支援するもの。

このキャンペーンは、宿泊代と体験代ともに 5,000 円引きで、最大 10,000 円の割引を受けることができます。申し込みは必ず宿泊を伴う必要があり、体験だけの申し込みはできません。今回は、島内在住者に限らず島外の方も申し込みが可能です！　親戚や友達を誘って、村内の宿泊施設に泊まってみるのもおすすめです。他の集落で目覚めるというのは新鮮なものですよ。

また冬の間、北風の強い大和村ではマリンアクティビティがなかなかできませんが、ナイトツアーやマッサージ、染め物体験などが楽しめます。

もしよかったらまるごと大和村のホームページをご覧いただき、申し込みを検討してみてくださいね。私たち観光事業者としても、オフシーズンにお客さんに来てもらえるように知恵を出し合っていきたいと思っています。

（13 ページにＱＲコードあります）

まるごと大和村

大和村集落まるごと体験協議会の活動レポート

日本一ゆっくりできる
ロングステイの村をめざして

歯っぴー スマイル通信

第5回　簡単な体操でオーラルフレイル予防！

オーラルフレイルは、口に関するささいな衰えを言います。前号のオーラルフレイルのチェック結果はいかがでしたか？　危険性が高い人も低い人も、予防に取り組みいつまでも元気に過ごしましょう。今日からできる簡単な予防体操をご紹介いたします。

唾液腺マッサージ

唾液が減るとむし歯や歯周病、口臭などのリスクが上がります。軽い力でゆっくりとマッサージすると唾液がじわっと出てきます。お風呂に入りながらマッサージすると、リラックスして唾液が出やすくなるのでおすすめです。

耳下腺（じかせん）
耳たぶの前、上の奥歯のあたりを指全体で 10 回ほど円を描くようにやさしく押す。

顎下腺（がっかせん）
あごの骨の内側のやわらかい部分に親指を当て、耳の下からあごに向かって3～4か所を押す。各ポイントを５回ほど行う。

舌下腺（ぜっかせん）
あごの先端の内側に両手の親指を当て 10 回ほど軽く押し上げるように押す。

8020 表彰　おめでとうございます！

8020 運動とは「80 歳になっても 20 本以上自分の歯を保とう」という運動です。

今年度は永井ミスエさん（81 歳・名音）が表彰されました。

永井さんは自分の歯を 29 本保っています。ご自宅に訪問し、鹿児島県歯科医師会と大島郡歯科医師会からの表彰状を伝達しました。

歯を保つ秘訣は、「1 日 3 回の歯みがきをしっかりしている。子どもの頃から、親が厳しくて、夜の歯みがきをしっかりするように言われていた」とのこと。

子どもの頃からの歯みがき習慣が今回の表彰につながっているのですね！

毎日頑張るあなたのお口。マッサージと歯磨きでいたわってみてね！

●住民税務課より

【相続登記の義務化】

令和6年4月1日から『相続登記』の申請が義務化されます！

不動産の相続登記の申請については、これまで任意でしたが、相続登記がされていないことにより所有者がわからず公共事業や復旧・復興事業の妨げとなったり、管理がされずに放置され隣接地に悪影響を及ぼすなど、様々な問題が生じています。

こうした問題の発生を予防するため、相続人はその所有権を取得したことを知った日から3年以内に相続登記の申請をしなければならないこととされました。

詳しくは法務省ホームページでご確認又はお近くの法務局にお問合せください。

■問合せ先　鹿児島地方法務局奄美支局
電話0997-52-0376

不動産登記推進イメージキャラクター
「トウキツネ」

【オンライン転出届】

マイナポータルから転出届をオンラインで提出できます。

引越しの際に手続が必要な転出届は、マイナポータルを通じてオンラインによる提出が可能です。このサービスを利用する方は、転出にあたり大和村役場への来庁が原則不要となります。

電子証明書が有効なマイナンバーカードをお持ちの方で、日本国内での引越しをする方がご利用いただけます。ご自身単身での引越しの他、ご自身と同一世帯員、ご自身以外の世帯員の方の引越しでも利用可能です。

※マイナポータルを通じて転出届の提出をした後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届等の手続が必要です。

【戸籍制度が利用しやすくなります】

令和6年3月1日から、戸籍制度が利用しやすくなります。

□戸籍証明書等の広域交付について

従来、戸籍（除籍）の証明書については、本籍地においてのみ交付を受けることができましたが、本年3月1日以降は、戸籍に記載された本人、その配偶者、直系尊属（父母、祖父母等）及び直系卑属（子、孫等）が市区町村窓口で請求する場合に限り、本籍地以外の市区町村においても交付を受けることができるようになります。

広域交付により戸籍証明書の交付を受けるには、請求できる方ご本人が、窓口にお越しになり、マイナンバーカードや運転免許証等の顔写真付きの身分証明書を提示して請求する必要があります（郵送でのお取り扱いはできません）。

また、一部事項証明書、個人事項証明書、コンピュータ化されていない戸籍（除籍）など、一部、広域交付の対象とならない証明書もあります。

□戸籍届出時における戸籍証明書等の添付負担の軽減

例えば、本籍地以外の市区町村に婚姻届を提出する場合、これまでは戸籍証明書の提出をお願いすることがありましたが、令和6年3月1日以降は、戸籍証明書等の添付が原則不要となります。

詳しくは、住民税務課にお問い合わせください。

■問合せ　住民税務課住民係
電話0997-57-2127

★戸籍法の一部を改正する法律について（法務省のホームページへ）

●産業振興課より

【食品表示制度に関する講習会参加者募集】

食品の表示については、食品を摂取する際の安全性の確保、消費者の自主的かつ合理的な食品選択の確保に関して、重要な役割を果たすものであることから、大島地域の「食品表示制度に関する講習会」を開催します。

食品関連事業に従事している方々や、食品表示に興味のある皆さん、奮ってご参加ください。

□開催日時：2月27日（火）10時～12時（受付9時30分～10時）
□開催場所：大島支庁4階大会議室（奄美市名瀬永田町17-3）
■問合せ
鹿児島県農政部農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室（電話099-286-3095）または大島支庁農政普及課内（電話0997-57-7333）

●保健福祉課より

【骨粗しょう症予防セミナーのお知らせ】

50才以上の日本人女性の4人に1人が骨粗しょう症になっています。骨粗しょう症になると骨がもろくなり骨折をしやすくなります。

セミナーでは、東京都立多摩総合医療センター内科医の安西耕氏を講師に迎え「骨粗しょう症ってどんな病気」をテーマとした講話や簡単にできる骨粗しょう症予防体操をご紹介します。申込不要、参加費無料です。ぜひご参加ください。

□開催日時　2月28日（水）
午前10時～11時半
□場所　大和村防災センター（2階研修室）
□申込不要・参加費無料
■問い合わせ　NPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所
健康長寿リサーチセンター　安西耕
■電話　0997-66-0200
■共催　大和村保健福祉課

●教育委員会より

【奄美群島日本復帰70周年記念写真展のお知らせ】

昭和26年、戦後間もない軍政下の奄美でニューヨーク州シラキュース大学の文化人類学教授ダグラス・G・ハーリングによって、アメリカ軍政府行政官への報告を目的として人類学的調査が行われました。その際に撮影されたカラー写真の展示が奄美群島を巡回し行われます。当時の奄美の自然、文化、生活、産業に関する貴重な資料です。ぜひご覧ください。

□大和村展示期間
2月26日～3月7日
□場所　大和村防災センター1階
□入場無料
■問合せ　教育委員会
電話0997-57-2154

写真と共に村長の活動を報告いたします。

大和村長のフォトダイアリー

今年１月 17 日、日本の世界自然遺産に登録された５地域の自治体が集結する「５地域会議」が京都で開催され、参加してまいりました。５つの世界自然遺産のうち、鹿児島県は、屋久島・奄美と２つの地域が登録されております。今回は、奄美を代表して大和村がアマミノクロウサギ飼育研究施設」の取組について発表いたしました。施設整備の紹介の他に、外来種の影響による生態系の変化とロードキル対策などの大和村の取り組みや、これまで奄美における生き物と地域住民が共存していた暮らしがあったことで、自然も守られてきたことなどを紹介いたしました。

私どもが進めている「アマミノクロウサギ研究飼育施設（仮称）」は、アマミノクロウサギの保護のみならず、子どもたちへの環境教育、研究者による調査・研究の拠点でもあると思います。今後も大和村から自然の素晴らしさと生き物の保護活動などについて発信を続けてまいります。

こせきの窓

人口	1415 人	（＋　1）
男	712 人	（＋　2）
女	703 人	（△　1）
世帯	844 世帯	（△　6）

12 月 31 日現在
（前年同月比）

広報やまとラジオ便

リッスントゥーミーひらとみ

放送中 77.7MHz

あまみ FM ディ！ウェイブ　月～土曜日　9：00 ／ 14：30

感想・ご意見お待ちしています！

神奈川県大和市の FM YAMATO
「大和村の教えてシマッチュ！」

毎月最終土曜日 11：20 ～ 11：30（再放送は翌水曜日の 7：15 ～）
奄美では JCBA インターネットサイマルラジオで聞くことができます。

ご結婚おめでとうございます

三浦 航平さん（奄美市）
吉原 唯さん（思勝）

お悔やみ申し上げます

悦田 隆太郎 様（64歳・大和浜）
森田 學 様（75歳・大棚）
前田 シズ子 様（90歳・大棚）
森田 俊公 様（85歳・大棚）
中里 誠勝 様（87歳・今里）
佐藤 久子 様（92歳・戸円）
奥田 清之助 様（91歳・大棚）
田河 茂信 様（93歳・名音）
川畑 恒廣 様（70歳・名音）
重宮之生 様（84歳・名音）
安原 フミ 様（94歳・今里）

香典返し（社会福祉協議会へ）

重信 優香 様（故悦田隆太郎 様）
森田 キチエ 様（故森田俊公 様）
福村すが子 様（故福村ウハエ 様）
奥田 清保 様（故奥田清之助 様）
前里 恵津子 様（故前里光榮 様）
安原 助義 様（故安原フミ 様）
和泉 松雄 様（故和泉トシ 様）
津田 政俊 様（故津田ヒロ子 様）

広報誌送付謝礼ありがとうございます

川畑 和昭 様（奄美市）

Happy 1st Birthday

島の宝 1

1歳おめでとう

愛川 晴琉（はれ） さん

父 蓮さん
母 めいさん（国直）

保護者からのコメント
「たくさん笑って元気に過ごしますように！」

中山 蓮楓（れん） さん

父 春樹さん
母 鈴奈さん（津名久）

保護者からのコメント
「兄２人を泣かすぐらい強いれんくん！
優しくて元気に育ってくれたらうれしいです！笑」

ふるさと納税ありがとうございます

吉田 純一 様（神奈川県）
福田 まなみ 様（東京都）
阿部 豊隆 様（東京都）
西田 千暁 様（大阪府）
堀井 勇司 様（北海道）
坂元 啓乃 様（千葉県）
前里 丈司 様（大阪府）
藏滿 司夢 様（茨城県）
小林 奈穂子 様（東京都）
押川 輝和 様（東京都）
福山 鉄也 様（神奈川県）
村山 美都 様（東京都）
玉城 政和 様（三重県）
圓山 節子 様（東京都）
南郷 毅 様（広島県）
廣田 雄一 様（東京都）
江浪 まつみ 様（兵庫県）
中濱 寛 様（東京都）
三浦 理恵 様（愛知県）
木内 志朗 様（東京都）
深澤 弘樹 様（東京都）
川上 直也 様（愛知県）
杉町 貴美子 様（東京都）
上村 文彦 様（奄美市）
荻原 秀郎 様（福岡県）
小野 弘海 様（青森県）
池 和夫 様（大阪府）
菊地 大助 様（宮城県）
祖田 圭一 様（東京都）
相田 正明 様（埼玉県）
小野寺 弘 様（神奈川県）
佐藤 直記 様（神奈川県）
梶川 朗 様（東京都）
高橋 和子 様（東京都）
佐々木 一 様（長崎県）
高星 一志 様（茨城県）
森 耕三 様（鹿児島市）
西倉 佑哉 様（千葉県）
村石 洋子 様（福岡県）
掲載を希望されない寄附者様 302名

すなおにキビキビ体操

YouTube で
動画公開中！

目指せ １万回再生！

集落巡回バス
きびきび号 運行中！

月・水・金の週３回

※運行日が祝祭日の場合、運休となります。

路線図、時刻表はこちら

アマミノクロウサギ事故件数
2023 年 146 件
不明・その他　70 件

2024 年１月９日現在

**生き物が出てきても
止まれる速度で運転を**

ケガをしているアマミノクロウサギや
死体を見つけたらお電話ください！

奄美野生生物保護センター
電話　0997-55-8620

ナツイカシャふぉとぐらふ

第8回

昭和61年 株式会社大棚商店25周年記念

当時、51才の元山輝子さん

当時、4才の川下光さん

お話を伺った人
元山輝子さん
川下　光さん

㊀ 旧公民館の前じゃがね、これは懐かしいね。昔は板をひいて座っていたからね。これは何歌ったかね？　こんな柄のスカート持ってたかね～笑

㊁ このお祝いは覚えていないけど八月踊りの浴衣が今と似てるね。

㊀ 大棚商店には子ども服や着物、履物など何でもあった。今のガソリンスタンドのところで鶏を飼育していてその卵も売っていたよ。お菓子は白ダイヤや黒ダイヤっていう飴しかなかった。この頃は滅多に名瀬に買い物に行くことはなかったね。

㊁ 確かに、通路が狭くて商品がたくさん並んでいたイメージがある。大棚商店は大正31年に設立されて、昭和36年に株式会社になったと聞いたことがある。今年で設立１１０年だ！

※現在、広報ネガフィルムをデータ化しています。そこで見つけた懐かしい写真について、写っている人に話を伺いました。
各ご家庭で昭和40年以前の大和村で撮影されたものがありましたらご連絡ください。記録のためにお借りできれば幸いです。

←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。
（http://www.vill.yamato.lg.jp）

発行・編集 大和村役場企画観光課
〒 894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地
TEL 0997-57-2117　FAX 0997-57-2161
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp
http://www.vill.yamato.lg.jp